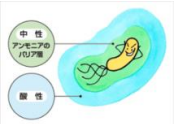
とんぼ通信 142号

９月号
とうぼ小児科医院
臼杵市港町東１４組　TEL63-5811
HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.tobobaby.com
発行責任者：　東保　裕の介
発行年月　：　平成２８年９月

ピロリ菌は、ほとんど0歳～5歳までに感染！！

ピロリ菌は、胃内に住み着いている細菌の一種です。今はピロリ菌＝胃がんの原因ということで知られていますし、「ピロリ菌の除菌」という言葉も聞いたことがあると思います。
今回はピロリ菌感染症と子どもとピロリ菌の関連について述べます。



Q　ピロリ菌とは？

正式にはヘリコバクター・ピロリ菌といい、比較的最近の 1982 年に発見された細菌のひとつです。「ヘリコ」（らせん）+「バクター」（バクテリア：細菌）・「ピロリ」（幽門部：胃の出口）と名付けられています。

Q　胃がんとの関連は？

胃がんの全体の８割はピロリ菌が原因と言われ、噴門部以外の胃がん（日本人には噴門部以外の胃がんが多い）の 89%～99%と言われています。

Q　感染経路は？

ピロリ菌の感染経路は、水や食べ物などによる経口感染が主なものです。今では、ほとんどが家族内感染です。小さい子供に親が食べ物をかみ砕いて口移しであげることも感染をする大きな要因です。口移しはやめましょう。

Q　感染時期は？

ほとんどが０歳～５歳までに感染します。この時期に感染を受けると胃の中の酸性が弱く、ピロリ菌が生き延びやすく、胃の中に住み着いた状態になります。一旦住み着いたピロリ菌は、除菌しないかぎり一生胃の中に住み続けます。

Q　感染している人の割合は？

今は、中学生 5%、20 歳代 10%、40 歳代 25%　60～70 歳代　60%～70%と言われています。特に昔衛生状態が悪かった時代に育った団塊の世代以上は高率になっています

Q　大人になってからうつりますか？

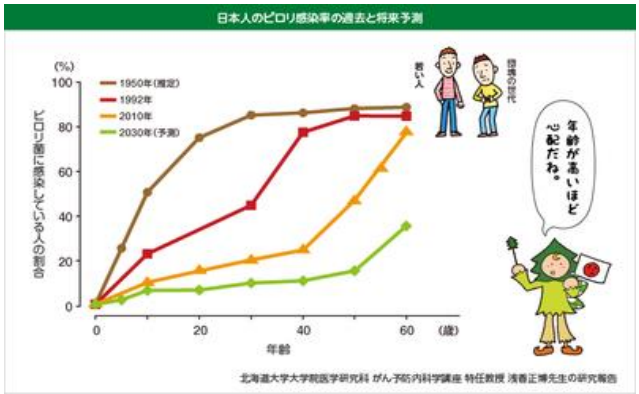
大人になってからは、基本的には移りません。胃内にピロリ菌がはいっても酸性が強く、胃内の免疫力が強いのでピロリ菌は定着できません。

Q　保育園、幼稚園などで子どもの間でうつりますか？

普通の接触ではほとんどうつりません。ただピロリ菌陽性者の嘔吐物には、ピロリ菌がいますので、その処理をきちんとしないとうつることがあります。吐物はノロウィルスの時と同じように、次亜塩素酸ソーダを使った処理に心がけましょう。

Q　どんな検査がある？ピロリ菌を調べる時期は？

血液、尿、便、尿素呼気試験、内視鏡による直接採取による検査がありますが、尿、血液、尿素呼気試験がスクリーニングとして行われます。時期としては大人では健診のときや、胃の症状があるときは必ず検査が必要です。最近では、一部の県で中学生に尿の検査でのスクリーニング検査も行われています。

Q　子どもでも除菌が必要ですか？

胃潰瘍や胃炎の症状が強ければ子ども（小学生）でも除菌をおこないますが、無症状であれば20歳になり、治療が保険診療でできるようになってからでも遅くありません。